

こんな時は・・・

ガス漏れに気づいたとき※素早く対応しましょう

1. 着火元となる火や火花のでるもの（マッチ・ライター・タバコ）には絶対に触れないでください。
2. 換気扇や、電灯のスイッチ、コンセントは火花が出る可能性がある為、触れずにそのままにしてください。
3. 窓を大きく開けてください。LPガスは空気よりも重い為、低いところに溜まります。ほうき等でゆっくり外へ掃き出しましょう。
4. すべてのガス栓、器具栓を締めてください。（容器バルブも時計回りに締めてください）
5. LPガス販売店、保安機関にご連絡下さい。連絡の際は「氏名」「住所」「状況」をお伝えください。
6. LPガス販売店または保安機関の点検を受けるまでは、ガスや上記注意点にお気をつけ下さい。

地震が起きたとき※まずは自分の身を第一に行動してください。

1. まず身の安全を確保してください。（棚や棚の上のものが落ちてきたりしますので、揺れがおさまるまで待ちましょう）
2. 火の始末をしましょう。ガスを使用していた場合は、揺れがおさまってからガス栓、ガス器具栓を閉めましょう。（ガス使用時に強い地震（震度5以上）が起きた時は、ガスメーターが自動的にガスを遮断します。ガス未使用時は、遮断しない機能になっています）
3. ガス漏れや、ガスのにおいがする際は、「ガス漏れに気づいた時」に記載のように注意をし、LPガス販売店または、保安機関へご連絡下さい。
4. 避難をする際は、ガス栓、ガス器具栓、ガスメーターバルブ及び容器バルブを全て締めてから避難してください。

停電時のガス器具使用のとき

1. 一酸化炭素中毒の危険がある為、窓を開け十分に換気した状態でご使用下さい。
2. 停電時は、照明器具が使用できない為、ガス漏れやガス器具の取扱いにはお気を付けください。
3. 100Vの電源を必要とするガス器具（給湯器、暖房機）は、ご使用いただけません。
4. 長時間の停電や電気ブレーカーを落とすと、給湯器の凍結防止装置（電気ヒーター）が働きません。凍結の恐れがある際は、給水元栓（水導栓）を閉め、給湯器の水抜きを行ってください。※水抜きの方法は、給湯器の取扱い説明書をご確認下さい。